

平成23年度研究科横断型教育プログラム(Bタイプ)授業科目

テーマ	生命	研究科名	人文科学研究所		横断区分	文理横断型	開講場所	人文科学研究所
授業科目名	生命・差異・表象				講義担当者 所属・氏名	人文科学研究所、竹沢泰子、加藤和人、 日下渉、田中祐理子		
配当学年	修士 博士後期	コマ数	5コマ	開講時期	6月16日、23日、30日、7月7日、 7月14日(木曜日)18時半～20時		授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕								
<p>人間は、もとより多様な存在である。問題は、人びとの差異が視覚的に、非視覚的に、あるいは科学的に表象され、特定の制度や権力と結びつくことで、われわれの生命のあり方を規定してきたことである。本講義では、文化人類学、政治学、生命倫理、近代医学思想史を専門とする教員が、それぞれのアプローチで、人間の差異がいかにリアリティをもって表象され、実体化され、自然化されるのか、そのメカニズムに焦点を当てる。本授業を通じて、差異の表象に対する批判的視座を獲得することができる。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 本講義を提供する人文科学研究所は、多様な学問領域を横断する学際的な共同研究に特徴がある。この知的伝統を、大学院教育に用いることによって、大学院生がより広い視野を持ち、新しい学問領域を開拓する能力を要請することを目的とする。</p>								
〔授業計画と内容〕								
<p>竹沢泰子：アメリカ合衆国における優生学と人種の表象について検証する（6/16） 日下 渉： 在日フィリピン人の表象とDV被害の苦境を克服していったフィリピン人女性の経験を論じる（6/23） 加藤和人： ヒトゲノム研究における人類集団のカテゴリー化と呼称に関する課題を論じる（6/30） 田中祐理子： 19世紀における生物学医学の出現とその論理基盤について論じる（7/7） 竹沢泰子： 全体ディスカッション(7/14)</p>								
〔履修要件〕								
特になし。								
〔修了証授与の要件〕								
全回出席、授業への積極的な参加と、レポートの総合評価により、修了証を授与する。								
〔教科書〕								
特になし。								
〔参考書等〕								
特になし。								
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕								
<p>本講義の1回から4回までは、人文科学研究所が主催する「人文研アカデミー」でもあり、一般向け講演会シリーズとして大学院生以外にも開かれています。受講する大学院生を対象としたオフィスアワーは、アポイントメント制で随時設定します。また講義内での質問を歓迎します。</p>								